独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.255 2024 September

今月の記事

Top News

○ 高等教育質保証学会第13回大会を終えて ・・・・・・・・・1

機構の窓

○ 会議の開催状況 ・・・・・・・・・6

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 令和６年度10月期学士の学位授与申請に係る受付期間及び試験日程等 ・・・・・・・・・4

○ 認定専攻科における教育の実施状況等の審査について ・・・・・・・・・5

○ 特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について ・・・・・・・・・5

主要行事日程

○ Schedule（９月～１１月） ・・・・・・・・・7

Top News

高等教育質保証学会第 13 回大会を終えて

参与　長谷川壽一（前 高等教育質保証学会長）

高等教育質保証学会第 13 回大会が、2024 年８月 24-25 日、港区のハリウッド大学院大学で開催されました。本学会は、すでに今年７月号の機構ニュースで坂口菊恵教授が紹介している通り、認証評価機関が２年交替で事務局を担い、高等教育質保証にかかわる実務家（評価側と受審側）と研究者が交流する貴重な場です。昨年度と今年度は当機構が事務局を担当し、筆者が学会長を、また李敏教授が幹事をそれぞれ務めました。

第 13 回大会は坂口大会実行委員長のもと、「社会との接続にむけた職業訓練と高等教育の質保証」をテーマに掲げ、基調講演に続く３つのセッション、認証評価セッション、ポスターセッションでの発表と討論が行われました。プログラムの詳細と発表要旨は、大会ホームページ（https://www.jaquahe.org/event/conference13/）を参照していただくことにして、以下、発表の概要と筆者の短いコメントのみを記します。

佐野晋平教授（基調講演）

- **基調講演**
  「教育経済学からみた高等教育」佐野晋平（神戸大教授）

教育と経済学との関わりについて概説があった後、高等教育への投資とそのリターン（所得・賃金の上昇）について、および奨学金の効果と意図せざる影響について研究紹介がされました。高等教育の経済的価値について学べる貴重な講演でした。貸与型奨学金に関し、女性においてのみ非婚率の上昇に繋がるというデータは、我が国の男女格差の新たな一面をみた思いでした。

- **セッション1　モデレータ：土屋俊（当機構客員教授）**
  『大学院における社会人の学習―その蹉跌と展望』

社会人が大学・大学院で学び直すこと自体、国際比較すると我が国は極めて低い水準にとどまります。このセッションでは教える側（佐藤博樹東大名誉教授）と学ぶ側（乾喜一郎リクルート進学総研主任研究員）から、社会人の学びの実情について詳細な紹介がされました。社会人修了生からは、「自信」や「実行力・遂行力」が身についた等、学び直しの価値が非常に高く評価される一方、社会人の学び直しが伸びない要因としては、長時間残業・短い睡眠時間等の劣悪な就労環境、「学ぶこと」を評価しない職場環境、プログラムと学習者が解決したい課題との不一致、費用・開講時間といった受講条件の制約等が

指摘されました。この蹉跌を乗り越えるには、学び全般に対する社会的リスペクトを高め、政府や企業から学習に対する一層の支援を獲得する方策を問い続ける必要を強く感じました。

- **セッション2　モデレータ：川口昭彦（専門職高等教育質保証機構代表理事）**
  『専門職高等教育の質保証』

2019 年、55 年ぶりの高等教育機関として誕生した専門職大学・専門職短期大学の発足、および 2026 年から施行予定の学校教育法における専修学校専門課程に対する「大学と同等の項目での自己点検・評価の実施義務と第三者評価の努力義務」化は、我が国の専門職高等教育の大きな転換点であり、その重要性の高まりを端的に示しています。モデレータの川口氏からは 21 世紀の高等教育の多様化と流動化いう大局的な観点から、専門職高等教育の意義が強調されました。続いて、井上雅裕慶應義塾大特任教授より「マイクロクレデンシャルのフレームワーク策定による学修歴の質保証」という演題で、伝統的な学位に対して細分化された単位で履修証明するマイクロクレデンシャルの我が国における現状と展望が示され、川島鋼太郎ハリウッド大学院大学教授からは「ハリウッド大学院大学の取り組み」の具体的な紹介がありました。

さらに、宮地恵美子東京保健医療専門職大学教授からは「専門職大学の分野別認証評価に向けて」と題し、制度開始後６年目の専門職大学・短期大学の現状とその認証評価に関する説明がありました。それぞれの発表から、専門職高等教育の大きなポテンシャルと改善すべき課題を学ぶことができました。

- **認証評価セッション　モデレータ：嶌田敏行（当機構教授）**
  『大学と社会（企業等）との連携（リレー）を意識した質保証とは』

本学会大会で恒例の認証評価セッションでは、５つの評価機関から来年度から始まる第４期（４巡目）の認証評価に向けた準備状況と、大学と社会との連携に関する発表がありました。モデレータの嶌田氏から、認証評価各巡目のキーワードとして、１巡目は Teach、２巡目は Learn、３巡目は Manage であったとの総括があった後、大学基準協会の田代守氏は、４巡目評価は「学習成果を基軸に据えた内部質保証の重視とその実質性を問う」評価であると指摘しました。日本高等教育評価機構の陸鐘旻氏も内部質保証の実質化を、また大学・短期大学基準協会の志賀啓一氏も同じく、学習成果を焦点とした教育の質保証を強調しました。大学教育質保証・評価センターの近藤倫明氏は、同セン

井上雅裕特任教授「マイクロクレデンシャルのフレームワーク策定による学修歴の質保証」

会場提供校挨拶
学校法人メイ・ウシヤマ学園　山中祥弘理事長

ターが実地調査時に実施する評価審査会が社会（企業等）との連携に大きく寄与することを紹介しました。発表を通じ、本学会は５評価機関が一同に会し情報共有する貴重な機会であることを改めて実感しました。

- **セッション３　モデレータ：坂口菊恵（当機構教授）**
  『いまのニーズにどう応えるか：理工学系拡充とダイバーシティ』

　セッションテーマの理工系拡充については、まず久保博子奈良女子大副学長より同大学の工学部設置の事例紹介があり、女子大における新しいタイプの工学部の可能性が示されました。また、野城智也東京都市大学学長からは、旧女子短大の文系学部も含めた全学的データ・サイエンス教育についてその目標と意義が示されました。ダイバーシティについては、石丸径一郎お茶の水女子大学教授が「多様性担保に向けた女子大学の挑戦：トランスジェンダーの受け入れ経験と工学部設置」と題して講演し、女子大学フロントランナーの取組みを紹介しました。最後に新谷康司横浜国立大学教授からは、高専卒業生の女性のキャリアと男性のキャリアを比較分析する実証データに基づき、ジェンダーギャップが浮き彫りにされました。普段知る機会の少ない、高等教育の今日的課題の多様な側面を学ぶよい機会でした。

　会場のハリウッド大学院・大学は六本木ヒルズの一角に位置し、これまで国内外の美容ビジネス分野の専門職教育を牽引してきました。筆者を含め大半の参加者にとって、専門職高等教育の現場を訪れる機会はほぼなかったわけですが、今回の大会を通じて改めて高等教育の多様性と流動性を学ぶことができました。会場眼下の六本木夏祭りの賑わいも忘れて、極めて内容の濃い講演に二日間集中できた学会でした。

会場となった教室より六本木の街をのぞむ

ハリウッド大学院大学エントランス（ハリウッドビューティープラザ）

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 令和６年度10月期学士の学位授与申請に係る受付期間及び試験日程等

令和６年度10月期学士の学位授与申請を以下のとおり受け付けています。申請方法の詳細は申請案内「新しい学士への途」p.35以降に記載しています。申請にあたっては必ずご確認ください。

最新情報については、機構ウェブサイトに随時掲載しますのでご注意ください。

１　受付期間

申請時期	受　付　期　間	
10月期申請	○ データ入力	令和６年９月10日（火）～令和６年10月４日（金） （最終日は17時までに送信完了）
	○ 書類送付	令和６年９月20日（金）～令和６年10月４日（金） （最終日は当日消印有効）
	○ 学位審査手数料払込み	令和６年９月２日（月）～ 令和６年10月４日（金）

※学位審査手数料はＡＴＭでの払い込みはできませんので、窓口の営業日・営業時間に注意してください。

申請書類等の送付先	〒187-8587　東京都小平市学園西町１-29-１ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構管理部学位審査課

２　試験日・試験地区

申請時期	試　験　の　区　分	試験地区	試　験　日
10月期申請	**小論文試験** （学修成果としてレポートを提出した者）	東　京	令和６年 12月15日（日）
		大　阪	
	面接試験 （専攻の区分「音楽」、「美術」、「演劇」のいずれかでレポート以外の学修成果を提出した者）	東　京	令和６年 12月８日（日）

【お問合せ先】
独立行政法人大学改革支援・学位授与機構
管理部学位審査課
電　話　０４２－３０７－１５５０
ＦＡＸ　０４２－３０７－１５５５
９：00～12：00　13：00～17：00
（土・日曜、祝日、年末年始を除く。）

○　認定専攻科における教育の実施状況等の審査について

機構が認定した短期大学・高等専門学校の専攻科については、認定又は再審査の結果の通知日の属する年度の次年度の４月１日から、原則として５年後に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として７年ごとに審査を行います。

・令和６年度に実施する教育の実施状況等の審査

本年度は、短期大学の認定専攻科のうち、３校５専攻について教育の実施状況等の審査を行います。各専門委員会における教員組織等の審査を経て、令和７年２月17日（月）開催の学位審査会で最終審査が行われる予定です。

○　特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査について

特例の適用認定を受けた短期大学・高等専門学校の専攻科については、適用認定の結果の通知日の属する年度の次年度の４月１日から、原則として５年以内に教育の実施状況等の審査を行い、その後は、原則として５年ごとに審査を行います。

・令和６年度に実施する特例の適用認定を受けた専攻科における教育の実施状況等の審査

本年度は、短期大学の特例適用専攻科のうち５校５専攻及び高等専門学校の特例適用専攻科のうち６校15専攻について教育の実施状況等の審査を行います。各専門委員会における教員組織等の審査を経て、令和７年２月17日（月）開催の学位審査会で最終審査が行われる予定です。

機構の窓

○　会議の開催状況

・学位審査会

第２回　令和６年８月２３日（金）　ウェブ開催

議事

１　学士、修士及び博士の学位授与の審査の結果について

２　特例適用専攻科修了見込み者に係る学士の学位授与の審査の付託について

３　令和６年度認定専攻科及び特例適用専攻科に係る教育の実施状況等の審査の付託について

４　令和７年度認定専攻科及び特例適用専攻科に係る教育の実施状況等の審査対象の選定について

５　特例適用専攻科における学修総まとめ科目の実施状況等に関する学位審査会意見について

６　令和7年度省庁大学校の認定課程に係る教育の実施状況等の審査対象の選定について

７　学位授与事業に関する規則等の一部改正について

８　その他

主要行事日程

○ Schedule

９月

	行事名	担当課
３日～ １０日	令和６年度大学機関別認証評価委員会（第２回：書面審議）	評価支援課
１０日～ １０月４日	令和６年度１０月期学位授与申請（データ入力）受付期間	学位審査課
２０日	令和６年度第１回大学等の質保証人材育成セミナー	評価企画課
２０日～ １０月４日	令和６年度１０月期学位授与申請（書類送付）受付期間	学位審査課
２７日	NIC-Japan セミナーシリーズ 「ベトナムの教育制度・外国資格承認」	国際課

１０月

日	行事名	担当課
２日	国立大学教育研究評価委員会（第75回）	国立大学 評価室
３日	学位取得者表彰式	学位審査課
８日	令和８年度以降に実施する大学機関別認証評価に関する説明会	評価支援課
９日	令和6年度大学質保証フォーラム	国際課
１０日	令和6年度 大学・高専機能強化支援事業選定委員会（第２回）	事業推進課

１１月

日	行事名	担当課
７日	学位審査会（令和６年度第３回）	学位審査課

訪問調査

日	行事名	担当課
１０月～１１月	訪問調査（大学、高等専門学校、法科大学院）	評価支援課

独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education